

DISCOVER THE ONE JAPANESE ART



2016年5月、芸術・文化の中心地ロンドンにて、日本の美術作品を一堂に会して紹介する展覧会「DISCOVER THE ONE JAPANESE ART」が開催され、新月紫紺大 作「夢は目の前に」の作品が出展され、多くの反響をいただきました。

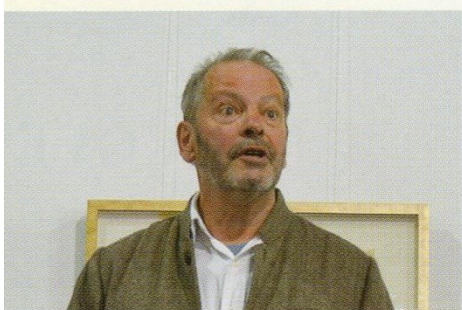


出展作品 「夢は目の前に」

審査員
タイモン・スクリーチ氏

ロンドン大学アジア・アフリカ研究所教授(日本近代文化・美術専攻)

DISCOVER THE ONE JAPANESE ART



キュレーター、アートライター
ニコラス・アッシャーウッド氏



ロンドン大学アジア・アフリカ研究所教授
タイモン・スクリーチ氏



英国王立美術家協会 副会長
ミック・デイビス氏

日本のアートを芸術・文化の 中心地ロンドンでご紹介！

イギリスの首都ロンドン。深い歴史と文化、バッキンガム宮殿をはじめ優れた建築遺産の数々によって彩られたこの街では、古来より多くの美術作品が発表されてきました。

文化芸術に造詣の深い人々から、常に熱い視線が注がれるロンドンにおいて、去る2016年5月17日～5月21日、市街の中心地からほど近いメニア・ギャラリー(Menia Gallery)にて、日本の美術作品を一堂に会し紹介する展覧会「DISCOVER THE ONE JAPANESE ART」が開催されました。

1870年に建てられたという元チョコレート工場だった古い建物がギャラリーとして生まれ変わった展覧会場は、これまでイギリス国内外の様々な現代美術作家に利用されており、展覧会期中も多数の方々にお越しいた

だくことが出来ました。

5月20日には本展の審査員である、ロンドン大学アジア・アフリカ研究所教授(日本近世文化・美術専攻)のタイモン・スクリーチ氏とキュレーターでアートライターでもあるニコラス・アッシャーウッド氏がご来場。お2人にはすべての作品をじっくりと鑑賞しながら審査を行なっていたが、また英国王立美術家協会(RBA)で副会長を務めるミック・デイビス氏にも来賓としてご同席いただくことが叶いました。

同日には展覧会場内にてオープニング・パーティーが催され、アートを通じて日本とイギリスの得難い文化交流を図ることが叶いました。